

組織強化拡大をめざし参院選挙で立憲民主党を勝利させよう!

＝福島県社会民主主義フォーラム第5回定期総会＝

福島県社会民主主義フォーラムは、3月29日(土)ラコパふくしまに於いて第5回定期総会を開催しました。羽田議長の下、役員会を代表して紺野長人代表の挨拶、来賓は、小熊慎司立憲民主党福島県代表、澤田精一連合福島会長、角田政志福島県平和フォーラム共同代表、そして石原洋三郎立憲民主党公認参議院福島選挙区予定候補者から激励と連帯の挨拶を頂きました。社民フォーラム全国と東北はメッセージを頂きました。総会は代議員役員を含め70人で開催しました

第5回総会は、社民フォーラム結成5年目を迎え各地区、労組での運動と課題を報告し、7月の参院選と一年間の活動方針を意思統一することです。

今総会の任務と課題

- 1、具体的な活動と学習を基本に、組織の拡大と強化を進めます。そのためにも、労組や民主団体と課題を共有し、連帯して活動していきます。
- 2、憲法の下で、くらしや平和、人権が守られていることを広く市民に呼び掛け、立憲主義に基づく政治の拡大をめざします。
- 3、第27回参議院選挙に結集し勝利することで、社民フォーラムの存在を明確にし、地方議会も含めた立憲民主党内における政策提言への力とします。
- 4、以上の活動を全員参加の下で推進し格差のない「すべての国民が人間らしく尊厳をもって生きられる社会」をめざします。



各地区・労組団体からの報告

6地区8人から報告がありました。主な発言内容は、①組織状況②欠員(労働者不足)③行政の財政難④働き方などに集約されます。

福島 K: ○組織活動(支部会議、支部代表者会議の開催地区ニュース毎月回発行)会員拡大した地区や支部からの経験や教訓を会員全体で学び広める活動が必要不可欠である。○衆議院選挙について: 比例区でのセット運動が不足、支持者対策(組合員・会員宅)を実施した労組・退職者会は少ない、地区選対ニュース6回発行、議員団を中心に親書や選挙用はがきの活用

喜多方耶麻 T: ○組織活動について高齢化が進んでいる現職に声をかけているが進んでいない。60未満は、8名、以上が14名(36%)、財政の関係(社民党と共同)経費が10万円(家賃、電気、印刷代)会費1,500円年金会員が多く値上げは難しい。○「社労農団結旗開き」に変わる「憲法を守

りくらしにいかす集い」を開催し、「実行委員会」として継続して行く。(社民フォーラム、社民党、平和フォーラム、高退連、I女性会)「喜多方市政を考える会」を定例市議会に合わせ年4回開催している。高畑(社民F)斎藤(社民党)から議会報告を行い、質問や意見頂き議論している。(2018発足、8年目)○喜多方市の財政危機について **伊達 Y:** 11月に伊達市地区を結成した。子育て教育、地域交通問題を地区として活動して行くことを確認した。阿武隈急行在り方検討委員会設立債務超過(資本金15億、現在累積赤字14億円)になってきており会社の存亡になっている。福島県、宮城県の支援継続になったが今後厳しい、学校、病院など地域の足として地域交通(公共交通)を守るために頑張ってきたが、利用者は、325万人から190万人激変している(年間5億~6億円の収入源)。収入を上げるためイベントを行っているが限界である。公共交通を守るのには、国の支援が必要だ。

須賀川 F: 須賀川市の財政状況、公立岩瀬病院経営状況(令和8年度で繰越剰余金が底をつく可能性、地域医療をどうまもるかは、岩瀬病院の存続にかかわる病院労働者、地域経済も影響がある)

会津若松 T: ○社民フォーラムの勢力をどう拡大していくのか旧4区の立憲議員、立憲系議員、立憲支持と思われる議員に呼びかけて研修会を行っている。県南にも県議と通じ広めて行きたい。○社民フォーラムとして、「ゼロカーボンシティ」の学習会(3回)をしてきた県や市から講師を招いて行い、太陽光発電・小規模水力発電の玄葉視察説明(1回)を受けた。約40名参加

郡山 I: ○衆院総括から参院選へ意思統一する。「生活・物価高」の関心が一番多い「裏金・脱税」は3番目。市政懇談会を開催している、国政に関する課題も議論されている(馬場議員参加)健康で働きやすい職場づくり。働き方改革、議会と労働

組合、市民運動としての運動の追求。○社会民主主義フォーラムとして行くべきだ。

教組 O: ○人員不足、35人学級が出来ていない（小人数指導）退職者の後補充が出来ない。教員調整額が4%から10%になるがこれでも残業額にはなっていない。60歳以上は賃金が7割になるためやっていると辞めてします。○学校現場の現状を知ってもらおうと福島、郡山、いわきで街頭行動を行った。

自治労 S: ○自治労の課題、高い人事院勧告が出されると財政難になる可能性の自治体もある。賃金カット、人員削減が増える可能性が出てくる。公共サービスが低下する財政難になれば指定管理料（5年間）のカット支援になり人件費カットになる。○社民フォーラムも議論してもらいたい。「意見交換会」にて出された意見内容をどのように反映してきたのか。



発言した
代議員の
皆さん

出された意見、要望と確認されたこと
2025年活動方針は、満場一致で採択され下記の内容が確認されました。

- ① 現役労働者、若い人を組織すること。（30%の拡大）具体的拡大運動をつくる。組織財政検討委員会の設置で拡大運動の提起を行なう。
- ② 労働組合との関係強化「政策懇談会、交流会、学習会、意見交換会」の開催を行う。その中で出された意見要望を立憲民主党に反映させる。

社民フォーラム、労組・団体「意見交換会」開催 ＝講演「参議院選挙をめぐる情勢と課題」＝

県社民フォーラムは、第5会総会でも確認されましたが、労働組合との支持協力関係強化することの具体化が「意見交換会」です。今回で第3回目になりますが、7月の参議院選挙がありますので労組での取り組みや課題等の「意見交換」をしていきます。今回は、社民フォーラム所属の吉川はじめ衆議院議員が出席し「参議院選挙の情勢と課題」について講演をしていただきます。尚、社民フォーラムからは四役（代表、副代表、事務局次長、事務局次長）の参加になります。

- ③立憲民主党に社民フォーラムの考え、政策（社会民主主義）を反映させる。立憲民主党の政策に取り入れる。
- ④立憲民主党としての選挙体制の在り方。地区選対での比例区を取組を強化する。
- ⑤護憲・原水禁、脱原発運動を強化すること。（立憲民主党へ反映させること、）
- ⑥財政の確立をする。



総会議長と副代表



来賓の皆様

役員改選

役員については、代表以下全員が再任され、新たに伊達市地区が結成されましたので、伊達市地区からの幹事に柳田武志（伊達市議）さんが就任しました。

決議文採択

「組織強化と参院選に勝利する決議」が満場一致で採択されました。



半沢副代表の音頭で団結三唱

日時：4月20日（日）13時～16時
場所：ラコパふくしま

内容：①講演「参議院選挙をめぐる情勢と課題」
講師「吉川はじめ衆議院議員」（社民フォーラム代表代行）

- ②意見交換会
参議院選挙の取組と課題、意見、要望等
- ③その他



吉川はじめ氏